

令和3年度用

新訂 新しい道徳

# 検討の観点と 内容の特色



## 【教育基本法(2条)との関連】

検討の観点	内容の特色	具体例
幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。(1号)	■真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培い、健やかな身体を養う心が育つように、巻頭導入教材を設け、1年間の学習の進め方を示しました。	●「道徳の授業はこんな時間に」(1～3年p.3～6)
	■幅広い知識と教養を身に付けることを目的の一つとして、付録に、郷土を支える人物や伝統・文化、技術や産業などを紹介しました。	●「郷土のことを考える」(1年p.182～183, 2～3年p.190～191)
個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。(2号)	■個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うため、個性の尊重に関する教材を各学年に配置しました。	●「自分の性格が大嫌い!」(1年p.16～20) ●「私は十四歳」(2年p.40～43) ●「ぼくにもこんな『よいところ』がある」(3年p.48～53)
	■自主及び自律の精神を養うため、自主、自律に関する教材を、「いじめ問題対応ユニット」の1教材として各学年に配置しました。	●「傍観者でいいのか」(1年p.25～27) ●「あの子のランドセル」(2年p.28～30) ●「ある日の午後から」(3年p.24～27)
	■職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うため、勤労について扱った教材を各学年に配置しました。	●「新しいプライド」(1年p.44～47) ●「我、ここに生きる」(2年p.136～141) ●「好きな仕事が安定かなやんでいる」(3年p.91～94)
	■創造性を培うことが職業において大切であるということを学習するため、ロケットを作った町工場の話教材化しました。	●「『どうせ無理』という言葉に負けない」(1年p.116～119)
正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。(3号)	■正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる心を養うため、「いじめ」について考える「いじめ問題対応ユニット」を各学年に配置しました。	●「いじめのない世界へ」(1年p.22～32, 2年p.24～33, 3年p.20～30)
	■公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画するため、挨拶やボランティア活動等に関する教材を配置しました。	●「朝市の『おはようございます』」(1年p.10～12) ●「社会からの無言の賞賛を感じる感性」(3年p.162～164)
	■男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずることを学習するため、学校を舞台に身近に起きうる出来事を教材化し、生徒自身が考える場面を設定しました。	●「班での出来事」(1年p.40～43) ●「みんなでとんだ!」(2年p.34～39) ●「殖生の宿」(3年p.31～35)
生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。(4号)	■生命を尊ぶ心情を養うために、「いのち」について考えるユニット教材を各学年に配置しました。	●「いのちを考える」(1年p.56～65, 2年p.62～75, 3年p.72～81)
	■自然を大切に、環境保全に寄与する態度を養うため、自然への畏敬や感謝を描いた教材を配置しました。	●「火の島」(1年p.132～137) ●「冬の使者『マガン』」(2年p.108～113) ●「よみがえれ、日本海!」(3年p.106～110)

伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。(5号)	■伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国を愛する態度を養うため、日本の伝統と文化を紹介する教材を配置しました。	●「古都の雅、菓子的心」(1年p.154～158) ●「心でいただく伝統の味」(2年p.48～51) ●「花火と灯ろう流し」(3年p.58～61)
	■伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた郷土を愛する態度を養うため、郷土の伝統と文化を紹介する教材を配置しました。	●「ぼくのふるさと」(1年p.52～54) ●「祭りの夜」(2年p.56～60) ●「島唄の心を伝えたい」(3年p.54～57)
	■他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うため、国際的な問題に対してどのように行動するかを考える教材を配置しました。	●「山岳民族の文化を守る」(1年p.124～127) ●「六千人の命のビザ」(2年p.100～107) ●「その子の世界、私の世界」(3年p.144～151)

## 【学習指導要領との関連】

### ★学習指導要領に示されている目標との関連

検討の観点	内容の特色	具体例
道徳教育の目標に基づいて「道徳科」を行う。	■「道徳科」が道徳教育の要として機能するように、各学年28テーマ35教材(35時間扱い)を配置し、さらに付録に5教材を置くことで、補充、深化の役割が果たせるよう構成しました。	●「目次」(1～3年巻頭)参照
	■道徳教育相互の関連を考えて発展させたり統合させたりするための資料として、各教材をテーマで分類するページを設けました。	●「テーマでふり返ろう」(1年p.184, 2～3年p.192)
道徳的諸価値についての理解を基にする。	■どの内容項目をどの教材で学ぶことができるのかを明確にするため、内容項目別の一覧表を配置しました。	●「1年間で学ぶこと」(1～3年p.8～9)
	■ねらいとする内容項目がぶれないように、各教材冒頭にテーマを設定し、導入でテーマについて話し合う流れを作りました。	●「目次」(1～3年p.1)参照
	■特定の内容項目だけに拘泥することがないように、複数の内容項目を設定した教材を配置しました。	●「ふたつの心」(1年p.28～32) ●「『いじめ』について、あなたは思う?」(2年p.31～33) ●「いじめから目をそむけない」(3年p.28～30)
自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める。	■自己を見つめるため、各学年巻末に自己評価用紙を用意しました。	●「自分の学びをふり返ろう」(1年p.185～189, 2～3年p.193～197)
	■物事を広い視野から多面的・多角的に考える力を育むため、一つの事象について友達と意見を交換し、問題解決を図る教材を配置しました。	●「その人が本当に望んでいること」(1年p.86～92) ●「自分を信じて生きるとは……」(2年p.130～134) ●「その子の世界、私の世界」(3年p.144～151)
	■人間としての生き方についての考えを深めるため、教材としてさまざまな人物を取り上げました。	●「決断! 骨髄バンク移植第一号」(1年p.61～65) ●「赤土の中の真実」(2年p.154～157) ●「背番号15が歩んだ道—黒田博樹」(3年p.36～41)

道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度が育つ設問を用意し、教材ごとに道徳性が着実に養われるよう配慮しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「考えよう」「自分を見つめよう」(1年p.12, 2～3年p.13, 他多数)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるための補助教具として、各学年巻末に心情円を用意し、考えたり思ったりしたことを可視化できるようにしました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「心情円」(1～3年巻末)</li> </ul>

★その他学習指導要領との関連

検討の観点	内容の特色	具体例
生徒が自ら振り返って成長を実感できるよう工夫されているか。また、評価への対応が工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年冒頭の「道徳の授業はこんな時間」において、学習の流れと振り返りのポイントを示しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「道徳の授業はこんな時間に」(1～3年p.4～6)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポートフォリオとして学期や学年単位で学習を振り返ることができるように、各教材に「つぶやき」コーナーを設置し、考えたり思ったりしたことを書き込めるようにしました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「つぶやき」(1年p.11, 2年p.12, 3年p.11, 他多数)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年巻末に切り取り式の自己評価用紙を用意し、名前と自己評価を書いて、学期ごとに提出できるようにしました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分の学びをふり返ろう」(1年p.185～189, 2～3年p.193～197)</li> </ul>
自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動が充実するよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年巻頭に「話し合いの手引き」を配置し、話し合い活動を促すようにしました。折り込みを開いた状態でページをめくれば、全教材で参照できるページになります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「話し合いの手引き」(1～3年p.3)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材に「つぶやき」コーナーを設置し、教材を読みながら考えたり思ったりしたことを書き込めるようにしました。書いたことは話し合いの材料としても使えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「つぶやき」(1年p.11, 2年p.12, 3年p.11, 他多数)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材によっては設問に書き込み欄を設置し、自分の考えたことや友達の考えたことなどを書き込めるようにしました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「傍観者でいいのか」設問(1年p.27)</li> <li>「三つのいのちについて考える」設問(2年p.74～75)</li> <li>「そのこ」設問(3年p.150)</li> </ul>
問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等ができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教材の冒頭にテーマを設定し、導入で問題を提起してから教材に入るという流れを作りました。また、漫画の1～2コマを伴う教材では、導入の問題提起のための話し合い活動がより活発になります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「友達とともに」(1年p.40)</li> <li>「正義を追い求めて」(2年p.118)</li> <li>「より高い目標を目指して」(3年p.122)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>2時間扱いの問題解決的な学習を配置し、問題提起から解決を図る流れの中で、道徳的価値について考えることができるよう工夫しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「その人が本当に望んでいること」(1年p.86～92)</li> <li>「自分を信じて生きるとは……」(2年p.130～134)</li> <li>「その子の世界、私の世界」(3年p.144～151)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループエンカウンターやモラルスキルトレーニングを「アクション」として配置し、体験的な学習(役割演技)ができるよう工夫しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「もし、あのときにもどれるのならば」(1年p.38～39)</li> <li>「不安な気持ちを整えてみよう」(2年p.84～85)</li> <li>「缶コーヒーをめぐるやりとりの場面をやってみよう」(3年p.100～101)</li> </ul>

家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携が図れるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族や地域社会を扱った教材を配置したり、各都道府県の伝統・文化などを紹介したりすることで、家庭や地域社会との連携を図りました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「郷土を彫る」(1年p.66～70)</li> <li>「郷土のことを考える」(1年p.182～183, 2～3年p.190～191)</li> <li>「背筋をのばして」(3年p.42～47)</li> </ul>
情報モラルに関して充実した指導ができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年に情報モラルに関する教材を配置し、SNSでのいじめなど新しい情報モラルの問題を取り上げました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「短文投稿サイトに友達の悪口を書く」と(1年p.120～123)</li> <li>「ゴール」(2年p.86～89)</li> <li>「合格通知」(3年p.102～105)</li> </ul>
現代的な課題などを題材とし、生徒が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりできるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>喫緊の課題である「いじめ」や「いのち」について、それぞれ複数教材を組み合わせたユニットを各学年に配置し、重点的に扱えるようにしました。</li> <li>防災、キャリア教育、医療、環境、人権、国際理解、児童労働など、さまざまなテーマを設定して考えさせる教材を多数配置しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いじめのない世界へ」(1年p.22～32, 2年p.24～33, 3年p.20～30)</li> <li>「いのちを考える」(1年p.56～65, 2年p.62～75, 3年p.72～81)</li> <li>「決断! 骨髄バンク移植第一号」(1年p.61～65)</li> <li>「『注文をまちがえる料理店』」(2年p.94～99)</li> <li>「その子の世界、私の世界」(3年p.144～151)</li> </ul>
生徒の発達の段階を踏まえて学習ができるよう配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>重点項目の設定において、1年生は郷土の学習、2年生は国の学習、3年生は国際理解の学習をそれぞれ重点項目に設定し、考える範囲が段階的に広がっていくよう配慮しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「郷土を彫る」(1年p.66～70)</li> <li>「心でいただく伝統の味」(2年p.48～51)</li> <li>「その子の世界、私の世界」(3年p.144～151)</li> </ul>

【 現代的な課題への対応 】

検討の観点	内容の特色	具体例
喫緊の課題である「いじめ問題」について対応した指導ができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年に「いじめ問題対応ユニット」を配置し、複数教材を通していろいろな角度から、いじめ問題に向き合うことができるよう配慮しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いじめのない世界へ」(1年p.22～32, 2年p.24～33, 3年p.20～30)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生では、小学校の教室のイラストから、いじめの場面を考えさせようとして、特に傍観者について取り上げられるよう配慮しました。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年生では、絵本や漫画を基に、いじめ問題について考えようとして、文章を読んで、一人一人がいじめと向き合う時間を確保できるよう配慮しました。</li> </ul>	
「いのち」の大切さについて考えることができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年生では、実際に中学生が行った「いじめサミット」を教材化し、中学生の目線で、いじめ問題を考えられるよう配慮しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いのちを考える」(1年p.56～65, 2年p.62～75, 3年p.72～81)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年に「生命尊重ユニット」を配置し、複数教材を通していろいろな角度から、「いのち」の大切さについて考えられるよう配慮しました。</li> </ul>	

SDGsに対応した指導ができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各学年で環境・資源、防災・安全、人権・平和などの教材を積極的に取り上げました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「桜に集う人の思い」(1年p.150～153)</li> <li>●「田老の生徒が伝えたもの」(2年p.170～173)</li> <li>●「その子の世界、私の世界」(3年p.144～151)</li> </ul>
人権・福祉に関わる教育の観点から、どのような配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■人権についての認識を深めたり、考えたりする教材を充実させるとともに、人権・福祉に関わる社会の動きを取り上げ、人権を尊重する態度を養えるよう配慮しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「楽寿号に乗って」(1年p.48～51)</li> <li>●「今度は私の番だ」(2年p.114～117)</li> <li>●「伝えたいことがある」(3年p.111～117)</li> </ul>
防災・安全について扱えるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各学年で、防災・安全について扱った教材を取り上げることで、発達段階に応じて防災・安全について考えが深められるよう配慮しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「山に来る資格がない」(1年p.34～37)</li> <li>●「田老の生徒が伝えたもの」(2年p.170～173)</li> <li>●「スマホに夢中!」(3年p.82～85)</li> </ul>
国際理解・平和に対応した指導ができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各学年で「国際理解、国際貢献」を扱った教材を取り上げ、他国を理解し、平和に貢献する態度を養えるよう配慮しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「山岳民族の文化を守る」(1年p.124～127)</li> <li>●「六千人の命のビザ」(2年p.100～107)</li> <li>●「その子の世界、私の世界」(3年p.144～151)</li> </ul>
食育について扱うことができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日本の伝統・文化である和食を教材化し、箸の持ち方などを紹介することで、食育につなげることができるよう配慮しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「心でいただく伝統の味」(2年p.48～51)</li> </ul>
キャリア教育に対応した指導ができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各学年で「勤労」を扱った教材を取り上げ、さまざまな仕事について考えられるよう配慮しました。</li> <li>■3年生の付録で、4人の職業を紹介したページを設けました。さまざまな職業を紹介したWebページ「あしたね」と連携して学習が進められるよう配慮しました。 <a href="https://ashitane.edutown.jp/">https://ashitane.edutown.jp/</a></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「新しいプライド」(1年p.44～47)</li> <li>●「我、ここに生きる」(2年p.136～141)</li> <li>●「好きな仕事か安定かなやんでいる」(3年p.91～94)</li> <li>●「将来の姿をイメージしよう」(3年p.189)</li> </ul>



情報モラル教育に対応した指導ができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各学年に情報モラルに関する教材を配置し、SNSでのいじめなど新しい情報モラルの問題を取り上げました。スマートフォンの画面を配置するなどして分かりやすく工夫しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「短文投稿サイトに友達の悪口を書くと」(1年p.120～123)</li> <li>●「ゴール」(2年p.86～89)</li> <li>●「合格通知」(3年p.102～105)</li> </ul>
オリンピック・パラリンピックに関する指導ができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■オリンピック・パラリンピックで活躍した選手を取り上げ、生き方やエピソードなどを題材に、道徳的価値について考えられるよう工夫しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「風を感じてー村上清加のチャレンジ」(1年p.111～115)</li> <li>●「白ご飯を目指してー萩野公介」(2年p.80～83)</li> <li>●「ライバルどうしの友情ースピードスケート 小平奈緒と李相花」(3年p.128～132)</li> </ul>
NIEを取り入れた指導ができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各学年で新聞記事を使った教材を取り上げ、NIEを取り入れた指導ができるよう配慮しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「ごみ箱をもっと増やして」(1年p.71～73)</li> <li>●「住みよい社会に」(2年p.14～17)</li> <li>●「好きな仕事か安定かなやんでいる」(3年p.91～94)</li> </ul>

## 【教育課程編成への配慮】

検討の観点	内容の特色	具体例
学習指導要領に示された内容項目について、十分に学習できるよう、生徒の発達段階に即して適切な話題や題材が取り上げられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■22の内容項目は全学年で全て扱うとともに、学年ごとに13の重点項目を設定し、重点項目については繰り返し学習できるよう配慮しました。</li> <li>■特に3年生では生命倫理や児童労働問題について考える教材を設定するなど、発達段階を考慮して話題を設定しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「1年間で学ぶこと」(1～3年p.8～9) 参照</li> <li>●「人間の命とは一人間の命の尊さ・大切さを考える」(3年p.80～81)</li> <li>●「その子の世界、私の世界」(3年p.144～151)</li> </ul>
初等教育、高等教育との関連が適切に図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■小学校道徳の定番教材である「橋の上のおおかみ」を掲載し、小学校道徳との関連を図りました。</li> <li>■小学校道徳でもなじみのある「レ・ミゼラブル」の一場面を掲載し、小学校道徳との関連を図りました。</li> <li>■3年生に職業紹介ページを設けることで、生徒が中学校を卒業してから先の将来について考えられるよう配慮しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「橋の上のおおかみ」(1年p.180～181)</li> <li>●「良心とのたたかい」(2年p.184～188)</li> <li>●「将来の姿をイメージしよう」(3年p.189)</li> </ul>
各教科等との関連が適切に図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各教科等と関連する教材を積極的に取り上げ、関連する教科マークを、教材冒頭の右下に配置しました。教材によっては、デジタルコンテンツとして、関連する他教科の教科書紙面をPDFでご用意しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「短文投稿サイトに友達の悪口を書くと」(1年p.120右下)、他多数</li> </ul>

## 【構成・配列・分量】

検討の観点	内容の特色
教科書全体を通じて道徳性を養えるよう構成されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の教科書を、オリエンテーション、本編、付録の3つで構成しました。オリエンテーションで道徳授業の基本的な流れを学習し、本編にスムーズに入れるよう配慮しました。また、付録で補充を図れるよう複数の教材を収録するなどの配慮をしました。</li> </ul>
教材は、学習指導要領の内容をもれなく扱い、目標を達成できるよう構成・配列されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年で22の内容項目全てをもれなく扱い、重点項目は複数時間をかけて学習できるよう構成しました。</li> <li>さまざまな題材の教材を用意することで、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳性を育めるよう配慮しました。</li> <li>「いじめ」や「いのち」などの大切な項目はユニットを組むことで、集中して学習に取り組めるよう配慮しました。</li> </ul>
教材の配列は、生徒の発達に配慮するとともに、系統的に学習が展開できるよう配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の発達段階を踏まえて教材を用意しました。例えば、A(5)「真理の探究、創造」の教材では、1年生で植松努さん、2年生で相沢忠洋さん、3年生で安藤百福さんと、各学年で人物を取り上げることで、諦めない心や、くじけない心、よりよいものを追求していく心などを、系統的に学べるよう配慮しました。(1年p.116～119, 2年p.154～157, 3年p.152～157)</li> </ul>
生徒の生活実態や体験活動に合わせ、効果的に指導ができるように配列が工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒作文を、実際の行事の時期などを考慮して配列することで、効果的に学習・指導ができるよう配慮しました。</li> </ul>
内容の程度、及び分量は適切か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年、本編で35時間分の教材を用意し、さらに付録で5教材を用意することで、学校や教室の実態に合わせて柔軟な指導ができるよう配慮しました。</li> </ul>

## 【指導上の配慮】

検討の観点	内容の特色
学習意欲を喚起し、主体的・対話的で深い学びを促すための工夫がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年のオリエンテーションで道徳の基本的な授業の流れを学習することで、本編の教材も、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう配慮しました。</li> <li>生徒二人と先生、それに案内役のキャラクターを要所に配置し、学習を案内するとともに、興味・関心を高めるよう工夫しました。</li> </ul>
導入や振り返り、問題提起に必要な教材、学習の整理のための配慮などは、十分にされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材の導入にテーマを設定し、テーマに対応した設問を教材末の「考えよう」「自分を見つめよう」に置くことで、一つのテーマで教材を一貫して扱えるよう構成しました。</li> <li>各教材に「つぶやき」コーナーを設置することで、生徒が考えたことや思ったことを自由に書き込んで、話し合いの際の材料として整理できるようにしました。</li> <li>巻末に切り取り式の自己評価用紙を用意し、学期ごとに生徒が自己評価を行い、提出できるよう配慮しました。</li> </ul>
教育の情報化に対応した指導ができるように工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書裏表紙に二次元コードを用意し、教材と関連する映像、他教科紙面、Webサイトを、インターネットを通じて見られるようにしました。該当する教材の冒頭にはQRマークを付しました。</li> <li>生徒が教科書と同じ内容を学習することができる、学習者用デジタル教科書・教材を発行します。</li> <li>教師用指導書に指導者用デジタルブックを同梱します。教材ごとの映像や朗読音声などを収載しています。また、研究編DVD-ROMには、教科書紙面の総ルビ・分かち書きPDFファイルも同梱します。</li> </ul>

授業支援や教員の負担軽減に寄与する工夫がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年冒頭にオリエンテーションのページを用意することで、道徳の授業の流れがひと目で分かるよう配慮しました。</li> <li>切り取ってすぐに授業で使用できる心情円やホワイトボード用紙などを用意しました。</li> <li>教師用指導書に道徳評価文例作成資料を同梱します。</li> </ul>
-----------------------------	--

## 【表記・表現】

検討の観点	内容の特色
本文等の書体、大きさは、生徒の発達段階を考慮したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般的な書体よりも少し太いユニバーサルデザインフォントを採用しました。また、中学生が読むことを考慮し、読みやすい大きさの文字にすることで、視認性を高めました。</li> </ul>
挿絵やレイアウトが工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に、「感動・畏敬の念」を扱う教材については写真を大きく掲載し、大自然の迫力が生徒に伝わるよう工夫しました。</li> </ul>
表記・表現は、生徒にとって親しみやすく、読みやすい配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生にとって難しい表現は避けて、なるべく分かりやすい表現を用いるよう配慮しました。</li> <li>各学年で漫画教材を取り上げ、中学生にとって親しみやすい口語体の教材に触れられるよう配慮しました。</li> </ul>

## 【造本・印刷】

検討の観点	内容の特色
本文、絵図、写真などの印刷は鮮明で、製本は堅牢か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷は鮮明で、目に優しい色を基調としました。</li> <li>表紙は強度の高い加工を施し、汚損しにくいよう配慮しました。</li> <li>製本は強力な接着剤を用いた、あじろ綴じで、大きく紙面を開くことができるうえに堅牢です。</li> </ul>
環境やアレルギーに対して配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に優しい再生紙や化学物質を抑えた植物油インキを使用するなど、環境やアレルギーに配慮しました。</li> </ul>
教科書の重量は、生徒の身体的な負担に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の負担を軽減するため、軽くて薄く、丈夫な紙を開発しました。さらに裏の紙面が透けないよう適切な塗料を付したうえで、現行の教科書と比べて約3.1%の用紙の軽量化に成功しました。</li> </ul>
造本は生徒の感性に訴えかけるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年巻末に、切り取り式のホワイトボード用紙と心情円を用意しました。話し合い活動の際に楽しく活用できるよう配慮しました。</li> </ul>

## 【特別支援教育・ユニバーサルデザインの観点からの配慮】

検討の観点	内容の特色
特別支援教育の観点から、教科書の内容を指示しやすい工夫がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文に5行ごとに行番号を配置することで、教科書の内容が指示しやすくなるよう配慮しました。</li> </ul>
特別支援教育の観点から、教科書の内容を読み取りやすい工夫がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>会話文や設問「考えよう」「自分を見つめよう」の文は、文節での改行を行い、読み間違いが起きにくいよう配慮しました。</li> </ul>
色覚特性への配慮から表現が工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>色覚特性の専門家の協力を得て、全ページにわたって配色や色に関わる表現を点検しました。その結果、隣り合う色の区別が付きやすい配色にしたり、色の呼び方を文字で加えたりするなどの配慮をしました。</li> </ul>

教材別  
テーマ対応表

1年

内容項目は、  
4つの視点別に  
色分けしています。

赤色：A 主として自分自身に関すること  
オレンジ色：B 主として人との関わりに関すること  
青色：C 主として集団や社会との関わりに関すること  
緑色：D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

は、問題解決的な学習対応教材です。  
 は、生命尊重ユニット教材です。  
 は、いじめ問題対応ユニット教材です。

は、体験的な学習対応教材「アクション」 が付属している教材です。  
 は、教材内容を深める資料が付属している教材です。  
 は、情報モラル対応教材です。  
 は、防災教育対応教材です。

\*①～⑤は付録教材です。

月	1年	人権・いじめ	生命の尊重	生命倫理	自然・環境	伝統・文化	先人の伝記	スポーツ	オリンピック・パラリンピック	情報モラル	家庭や地域社会	防災・安全	食育・健康	福祉・医療	消費者教育	法教育	キャリア教育	国際理解	SDGs	私たちの道徳・文部科学省資料	
配当時間外	今日からはじまる 道徳の授業はこんな時間に		よりよく生きる喜び 自主、自律、自由と責任		○																
4月 [3時間]	1 朝市の「おはようございます」		礼儀								○							○			
	2 選手に選ばれて	○	○	○				○								○					
	3 自分の性格が大嫌い!	○	○	○													○				
5月 [3時間]	4 いじめに当たるのはどれだろう 傍観者でいいのか ふたつの心	○	○	○												○					
	5 山に来る資格がない もし、あのときにもどれるのならば		○	○	○							○	○								
	6 班での出来事 7 新しいプライド	○	○	○										○			○				
7月 [2時間]	8 楽寿号に乗って 9 ぼくのふるさと		○	○	○						○			○					○		
	10 あなたはひかり いのちって何だろう 決断! 骨髄バンク移植第一号		○	○	○			○	○				○	○							
9月 [4時間]	11 郷土を彫る		○	○	○	○					○	○					○		○		
	12 ごみ箱をもっと増やして 13 全校一を目指して 14 「看護する」仕事 15 その人が本当に望んでいること		○	○	○	○					○				○	○			○		
	16 思いやりの日々	○	○	○							○	○	○	○			○				
11月 [4時間]	17 靴 18 席替え くじ引きの後の場面をやってみよう	○	○	○							○										
	19 銀色のシャープペンシル 20 風を感じてー村上清加のチャレンジ	○	○	○				○	○			○				○		○	○	○	
	21 「どうせ無理」という言葉に負けない 短文投稿サイトに友達のお口を書くと	○	○	○							○										
1月 [3時間]	22 山岳民族の文化を守る	○	○	○	○	○					○						○	○	○		
	23 本が泣いています 24 火の島 25 落語が教えてくれること 26 花に寄せて		○	○	○	○			○			○		○				○			
	27 桜に集う人の思い 28 古都の雅、菓子的心		○	○	○	○	○					○						○		○	
配当時間外 (付録教材)	① 父のひとこと ② 古びた目覚まし時計 ③ 心をつなぐバス ④ いじめっ子の気持ち ⑤ 見沼に降る星 橋の上のおおかみ 郷土のことを考える	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○				○		○	○

\*複数内容項目…内容項目を設定せずに、生徒から自由な発想を引き出す教材。

教材別  
テーマ対応表

2年

内容項目は、  
4つの視点別に  
色分けしています。

赤色：A 主として自分自身に関すること  
オレンジ色：B 主として人との関わりに関すること  
青色：C 主として集団や社会との関わりに関すること  
緑色：D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

は、問題解決的な学習対応教材です。

は、体験的な学習対応教材「アクション」が付属している教材です。

は、生命尊重ユニット教材です。

は、教材内容を深める資料が付属している教材です。

は、いじめ問題対応ユニット教材です。

は、情報モラル対応教材です。

は、防災教育対応教材です。

\*①～⑤は付録教材です。

月	2年	人権・いじめ	生命の尊重	生命倫理	自然・環境	伝統・文化	先人の伝記	スポーツ	オリンピック・パラリンピック	情報モラル	家庭や地域社会	防災・安全	食育・健康	福祉・医療	消費者教育	法教育	キャリア教育	国際理解	SDGs	私たちの道徳・文部科学省資料
配当時間外	世界にあるもの 道徳の授業はこんな時間に		よりよく生きる喜び 友情、信頼					○									○	○		
4月 [3時間]	1 あいさつ		礼儀								○					○				
	2 住みよい社会に	○	社会参画、公共の精神								○	○				○				
	3 遠足で学んだこと		相互理解、寛容		○															○
5月 [3時間]	4 私のせいじゃない あの子のランドセル	○	公正、公平、社会正義 自主、自律、自由と責任													○				
	「いじめ」について、あなたは思う？	○	*複数内容項目													○				
6月 [4時間]	5 みんなでとんだ!	○	友情、信頼				○	○												
	6 私は十四歳		向上心、個性の伸長					○			○						○			
	7 ごめんね、おばあちゃん	○	家族愛、家庭生活の充実								○									
	8 心でいただく伝統の味		我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度			○							○						○	
7月 [2時間]	9 愛		思いやり、感謝		○									○			○			
	10 祭りの夜		郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度		○	○					○									
9月 [4時間]	11 奇跡の一週間 妹に		生命の尊さ		○	○					○									
	三つのいのちについて考える		生命の尊さ		○	○					○									
	12 宝塚方面行き一西宮北口駅		遵法精神、公德心								○									
10月 [4時間]	13 白ご飯を目指して一萩野公介 不安な気持ちを整えてみよう		節度、節制					○	○				○				○			
	14 ゴール	○	友情、信頼					○		○										
	15 四十七年に感謝をこめて		よりよい学校生活、集団生活の充実			○							○							
11月 [4時間]	16 「注文をまちがえる料理店」	○	相互理解、寛容										○	○			○			
	17 六千人の命のピザ	○	国際理解、国際貢献		○		○									○	○	○		
	18 冬の使者「マガン」		自然愛護		○						○								○	
12月 [2時間]	19 今度は私の番だ		社会参画、公共の精神					○	○		○						○			
	20 渡良瀬川の鉱毒 21 夜は人間以外のものの時間	○	公正、公平、社会正義 感動、畏敬の念		○		○			○	○	○	○	○	○	○			○	○
1月 [3時間]	22 自分を信じて生きるとは 本当の私		よりよく生きる喜び よりよく生きる喜び					○					○			○				
	23 我、ここに生きる		勤労								○			○			○			
	「十年後の自分」から「現在の自分」 にメッセージを伝えよう		勤労														○			
2月 [4時間]	24 左手でつかんだ音楽		希望と勇気、克己と強い意志								○		○				○			
	25 書道パフォーマンスの挑戦		我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度			○														
	26 赤土の中の真実		真理の探究、創造			○	○										○			
3月 [2時間]	27 心に寄りそう		思いやり、感謝											○			○			
	28 「いいね」のために?		遵法精神、公德心							○					○	○				
配当時間外 (付録教材)	① 金語楼さんのこと		自主、自律、自由と責任			○	○													
	② 田老の生徒が伝えたもの		節度、節制		○		○				○	○								
	③ 宇宙人		勤労														○			
	④ 書かれなかった遺書		生命の尊さ		○															
	⑤ 良心とのたたかい 読書で広げる道徳 郷土のことを考える	○	よりよく生きる喜び よりよく生きる喜び 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

\*複数内容項目…内容項目を設定せずに、生徒から自由な発想を引き出す教材。

教材別  
テーマ対応表

3年

内容項目は、  
4つの視点別に  
色分けしています。

赤色：A 主として自分自身に関すること  
オレンジ色：B 主として人との関わりに関すること  
青色：C 主として集団や社会との関わりに関すること  
緑色：D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

は、問題解決的な学習対応教材です。  
は、生命尊重ユニット教材です。  
は、いじめ問題対応ユニット教材です。

は、体験的な学習対応教材「アクション」が付属している教材です。  
は、教材内容を深める資料が付属している教材です。  
は、情報モラル対応教材です。  
は、防災教育対応教材です。

\*①～⑤は付録教材です。

月	3年	人権・いじめ	生命の尊重	生命倫理	自然・環境	伝統・文化	先人の伝記	スポーツ	オリンピック・パラリンピック	情報モラル	家庭や地域社会	防災・安全	食育・健康	福祉・医療	消費者教育	法教育	キャリア教育	国際理解	SDGs	私たちの道徳・文部科学省資料	
配当時間外	かけがえない君 どう生きる 道徳の授業はこんな時間に		○							○											
4月 [3時間]	1 言葉おしめ 2 たんぼぼ作業所 3 無実の罪										○					○	○				○
5月 [3時間]	ある日の午後から いじめから目をそむけない 4 埴生の宿	○								○						○	○				
6月 [4時間]	5 背番号15が歩んだ道一黒田博樹 6 背筋をのばして 7 ぼくにもこんな「よいところ」がある 8 鳥唄の心を伝えたい							○	○		○		○				○				
7月 [2時間]	9 花火と灯ろう流し 10 早朝ドリブル		○					○			○		○								
9月 [4時間]	11 ハッチを開けて、知らない世界へ 12 生まれてきてくれて、ありがとー助産師からのメッセージ くちびるに歌をもて 人間の命とは一人間の命の尊さ・大切さを考える		○		○						○						○	○	○		
10月 [4時間]	13 スマホに夢中! 14 加山さんの願い 15 好きな仕事が安定かなやんでいる 16 缶コーヒー									○	○	○	○		○		○				○
11月 [4時間]	缶コーヒーをめぐるやりとりの場面をやってみよう 17 合格通知 18 よみがえれ、日本海! 19 伝えたいことがある	○								○	○	○	○								○
12月 [2時間]	20 受けつがれる思い 21 高く遠い夢	○			○	○		○													○
1月 [3時間]	22 ライバルどうしの友情ースピードスケート 小平奈緒と李相花 23 しあわせ おたがいの「ちがひ」を認め合おう							○	○												○
2月 [4時間]	24 足袋の季節 25 その子の世界、私の世界 そのこ 日本から世界へ、そして宇宙へーインスタントラーメンの誕生	○											○		○	○			○	○	○
3月 [2時間]	27 一冊の漫画雑誌 28 社会からの無言の賞賛を感じる感性										○	○									
配当時間外 (付録教材)	① スイッチ ② 心にしみこむ「言葉」の力ー池上彰 ③ 二通の手紙 ④ 命見つめて ⑤ たとえばくに明日はなくとも 将来の姿をイメージしよう 郷土のことを考える							○				○				○	○				○
			○				○	○			○		○				○	○			○

\*複数内容項目…内容項目を設定せずに、生徒から自由な発想を引き出す教材。





東京書籍

本社 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel:03-5390-7402(道徳編集部) Fax:03-5390-6014  
支社・出張所 札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7581 名古屋 052-939-2722  
大阪 06-6397-1350 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770 那覇 098-834-8084  
ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp> 教育情報サイト 東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>